

# うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 68



## 川を渡る公共交通 今も無料で運航中

### 生活に密着した交通機関

現在大阪市内には、市が運営する8か所の渡船場があり、15隻の船が人々の通勤・通学・買い物に加えてイベントや観光など、年間約174万人に利用されています。

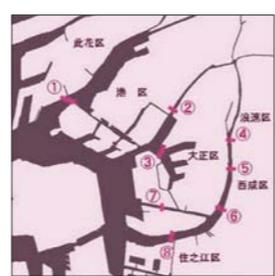
### 大正の頃より

### 公共交通として無料運航

古来より「水の都」と呼ばれた大阪には、往來のための渡船場が各所で民間によって営まれていました。1891（明治24）年に大阪府が「監督取締り」を行うようになり、1920（大正9）年、旧道路法の施



「渡船マップ②甚兵衛渡船場」朝のラッシュ時は2隻が随時運航中。1日平均1,100人以上が利用しています



渡船マップ（大阪市HPより）



「渡船マップ①天保山渡船場」天保山公園とUSJを結ぶ渡船は観光客も利用しています

行により渡船は無料となりました。市直営で1935（昭和10）年頃には31か所、船舶数69隻、年間利用者は約5752万人にまでなりました。1945（昭和20）年の戦災によってその多くを失いましたが、1948（昭和23）年に15か所で再開され、その後、都市施設の整備や家用車の普及などにより、渡船の利用が減少し、現在の8か所となっています。梅雨明けを待ちながら、徒歩や自転車での「渡船めぐり」を計画されてはどうでしょうか。

## Culture Navi かるちがーナび

### 作りませんか



新玉ねぎのしょうが煮  
交野市職労 国武 裕次さん  
協力：現業評議会・給食部会

交野市でとれた新玉ねぎを使ってしょうがの風味がアクセント



### 材料（4人分）

豚肉100g、平天80g（10ミリ×30ミリ幅に切る）、こんにゃく60g（15ミリ幅×5ミリ厚に切る）、じゃがいも200g（20ミリ幅サイノ目切り）、たまねぎ160g（20ミリ幅サイノ目切り）、さやいんげん20g（20ミリ幅に切り下茹で）、土しょうが2g（みじん切り）、塩0.4g、砂糖7.2g、淡口醤油 15.2g、削り節2.8g、菜種油0.8g、水160g

### 作り方

- ①油を引き、豚肉を炒め、塩で下味をつける。
- ②玉ねぎを入れ、かつお出汁を加えて煮る。
- ③下ゆでしたコンニャク・じゃがいもを入れ砂糖を加え、じゃがいもに半分くらい火が通ったら、平天を入れ弱火で煮る。
- ④淡口醤油・土しょうがを加えて味を付ける。
- ⑤下ゆでしたさやいんげんを入れて仕上げる。

# 16mmフィルムがえいが



## 「少女は自転車に乗って」

### 愛らしく、したたかなたたかいが 社会の壁を乗り越えてゆく

サウジアラビアで2012年に作られた作品です。今年4月に映画館が解禁されましたが、それまでこの国には映画館がありませんでした。また世界で唯一、女性の自動車運転が禁止され、女性が一人で外出することも許されない、窮屈で生きづらい国です。そんな国で、慣習にささやかな抵抗を試み、困難にぶつかっても決して諦めず目標に向かって突き進む少女のお話です。

ワジダは首都リヤドに住む10歳のおてんば少女。仲良しの男の子と競走がしたくて、自転車をおねだりしますが、女の子が自転車に乗るなんてとんでもない話、許してもらえません。こっそりアルバイトをしてお金を貯めようとはしますが、自転車代800リアルにはとても届きませ

ん。そんな時、学校でコーランの暗唱コンテストが。優勝賞金は何と1000リアル！ワジダは迷わず立候補し、必死に苦手をコーランを覚え美しく暗唱する練習を重ねます。そしてコンテスト当日、ワジダは順調に勝ち抜いて…

戒律を重んじる女校長の言葉や、一夫多妻制のもと夫が第二夫人を迎えようとする気配に不安を募らせる母親など、女性たちが強いられる理不尽な日常が描かれています。今年6月によく女性の運転が解禁されますが、ワジダが颯爽と自転車で走るラストは未来への希望を感じさせます。

## 心に響くひとこと

努力は必ず報われる  
もし報われない努力があるのなら  
それはまだ努力と呼べない

王貞治(1940年～)

現役引退の年の著書「王貞治 回想」(初版：勁文社1981年)に、この一文を記しています。プロ入り当初、期待された活躍ができず、後に「一本足打法」で打者として開眼する中、その練習の過酷さや野球への姿勢には様々なエピソードが語られています。「努力は必ず報われる」の真偽にかかわらず、努力しなければ成功しないことには変わりはありません。ペーパークラフトも「努力した者が成功するとは限らない。しかし、成功する者は皆努力している」という言葉を残しています。

## 今月の記念日

「時の記念日」  
6月10日

1920年に東京天文台（現在の国立天文台）と、当時の文部省の外郭団体「(財)生活改善同盟会」によって制定されました。国民に「時間をきちんと守り、欧米並みに生活の改善・合理化を図ろう」と呼びかけ、「時間の大切さを尊重する意識」を広めるために設けられた記念日です。現在、6月に国民の祝日がないため、「時の記念日」を祝日にすべきとの意見も多いですが、実現には至っていません。「働く時間」「自分のための時間」「家族との時間」「睡眠時間」「リフレッシュするための時間」等々、人や社会を豊かにする「時間」。それらがないがしろにするような「高度プロフェッショナル制度」は今すぐ廃案に！